1区岡本 区間新で流れ

東日本女子駅伝

1区（6キロ）の岡本春美（ヤマダホールディングス、常磐高出身）が本県の主将として大役を果たした。2位に15秒差のトップで高校の後輩に当たる2区並木美乃（常磐高）にたすきリレー。従来の記録を5秒上回る18分44秒の区間新記録付きの快走で、優勝の流れをつくった。

「最初から自分で引っ張る」と覚悟を決めてスタート。自身の想定以上に身体が動き、3キロ手前で先頭集団から抜け出した。残り1キロで苦しくなったというが、フォームが崩れないように意識して失速を抑えた。「粘れたことは自信になる」と28日の全日本実業団対抗女子駅伝に向けた手応えも得た。

三井住友海上に所属していた2016年以来の出場。近年はけがなどで苦しんでいたが、今季から高校時代の恩師でもある高木雅一監督率いるヤマダに移籍し、調子を上げてきた。「久しぶりに群馬代表に選ばれてうれしくて、わくわくして走れた」と笑顔だった。（越谷奈都美）

区間新記録をマークした1区岡本（左）が2区並木にたすきを渡して送り出す＝福島市南町の第1中継所

ザスパ 貴重な勝ち点1

明治安田生命 J2 LEAGUE

サッカー明治安田J2は14日、各地で第39節を行い、ザスパクサツ群馬（前節16位）は東京都町田市の町田GIONスタジアムで町田（同5位）に1―1で引き分けた。熾烈な残留争いに巻き込まれる中、アウェーで貴重な勝ち点1を得た。通算は9勝18敗12分け（勝ち点39）で16位。

首位の磐田は水戸を3―1で下し、来季J1への昇格を決めた。4連勝で勝ち点を86に伸ばし、3試合を残して3位長崎に12差をつけて今季2位以上が確定した。磐田のJ1は3季ぶり。

ザスパは次節の21日、前橋市の正田醤油スタジアム群馬で新潟（5位）と対戦する。

▽第39節②Gスタ（町田1勝1分け）
町田 1（1―0、0―1）1 ザスパ
18勝11分 9勝12分
（6510）18敗 （3918）

▽得点者【町】長谷川（7）【ザ】畑尾（3）
▽観衆 2832人

⊙…ザスパが後半に巻き返し、引き分けに持ち込んだ。前半は防戦一方の展開で、23分、パスミスからカウンターを受けて先制を許した。

後半は粘り強く攻めて、セットプレーを獲得。17分、右CKからDF畑尾が頭で合わせてゴールを奪った。

【ザスパ】
GK 清水
DF 平井 渡辺 畑尾 小山 田中 岩津 中島 加藤 大橋 青木
MF 橋本 居村 江川 野口 尾谷 戸ヶ谷
FW 福田 奥山 深澤 高橋 土屋 佐藤 吉田 長谷川 平戸
【町】
後23分 太田1（長谷川）
後23分 中島0（ドウド）
後42分 安井0（吉尾）
後47分 鄭大世0（平戸）
【ザ】
後26分 吉永0（平尾）
後26分 内田0（中山）
後42分 細貝0（岩上）
後48分 北川0（大前）
▽交代
※数字はシュート数

町田―ザスパクサツ群馬　後半、ヘディングで同点ゴールを決めるザスパ・畑尾（右奥）＝Gスタ

畑尾が同点弾

ザスパが意地を見せ、なんとか勝ち点1を積み上げた。値千金の同点弾を決めたDF畑尾大翔は「自分のミスで失点していたので、何としても取り返したかった」と得点の場面を振り返った。これまで度々強調してきた「責任感」を、自ら体現するゴールだった。

チームは前半、消極的な動きでパスがつながらず、後手に回った。普段は選手をかばう久藤清一監督も「らしくないプレー」が続出した。パスのスピードも遅く、ボールを受けるのを嫌がった」と苦言を呈した。

「怖がらずに、自分たちから仕掛けよう」。ハーフタイムでねじを巻き直したチームは、後半粘り強さを増した。ボールを奪うと前を向き、守備を崩せなくても、セットプレーに持ち込んだ。

アウェーで勝ち点を奪ったが、畑尾は「ミスがなければ勝ち点3を得られた」と浮かない表情。今季の目標に掲げた勝ち点50の達成も不可能になった。

降格圏のチームとの勝ち点差は4と、残留争いは依然として予断を許さない。難敵に挑む残り3節に向けて、チームの掲げる目標と、目指すスタイルを再確認したい。（金子雄飛）

勝敗表 J2（14日現在）

	勝ち点	勝数	分け数	敗数	得点	失点	得失差
①磐田	86	26	8	5	71	39	32
②京都	81	24	9	5	59	31	28
③長崎	74	22	8	10	65	40	25
④甲府	73	21	10	9	58	35	23
⑤新潟	66	18	12	10	50	27	23
⑥横浜FC	65	18	11	11	50	35	15
⑦群馬	65	18	11	11	47	36	11
⑧琉球	60	17	9	12	53	44	9
⑨千葉	59	15	14	10	43	35	8
⑩岡山	55	14	13	12	38	33	5
⑪水戸	52	14	10	15	51	41	10
⑫東京V	51	14	9	16	54	64	−10
⑬秋田	47	11	14	14	39	45	−6
⑭山口	41	10	11	18	35	48	−13
⑮栃木	39	9	12	18	34	53	−19
⑯ザスパ	39	8	15	16	33	48	−15
⑰大宮	38	8	14	17	47	52	−5
⑱金沢	37	9	10	20	37	58	−21
⑲北九州	35	7	14	19	33	57	−24
⑳相模原	34	7	13	19	30	49	−19
㉑愛媛	34	7	11	21	33	62	−27
㉒松本	32	7	11	21	33	67	−34

磐田3季ぶりJ1 16戦無敗で決める

ベテランが力を示し、3季ぶりのJ1復帰を決めた。先発の平均年齢が31・09歳の磐田は効果的に点を重ねて快勝。10月末に鈴木監督が体調不良で離脱したが、4連勝、16戦無敗と安定した戦いを続けた。服部ヘッドコーチは「一日でも早く（監督の）心配事を減らせればという気持ちでやっていた」と息をついた。

敵地に集ったサポーターを早々に喜ばせた。前半12分、右クロスから大井が頭で先制。3分後にはテンポよく回して大森が加点し、後半立ち上がりにはルキアンがスピードを生かして決めた。

開幕2連敗で始まったが、5～7月に12戦負けなしと突っ走り、その後も息切れしなかった。37歳の大井が守備を束ね、30歳のルキアンはJ2トップの22得点と躍動。32歳の山田の技術も健在で、何より41歳の遠藤が絶大な存在感を発揮した。要所でボールを預かり、冷静に統率した遠藤は「攻め急いだり慌ててゲームを進めたりすることが少なくなった」とチームの成長を語る。

J1を3度制した黄金期も今は昔。ゴール裏の横断幕にあった「ここからが新たな挑戦の始まり」の文言が、クラブの総意だろう。

3季ぶりのJ1昇格を決め、喜ぶ大井（3）ら磐田イレブン＝Kｓスタ

サッカーW杯最終予選

日本あす未明オマーン戦

【マスカット共同】サッカーの2022年ワールドカップ（W杯）カタール大会アジア最終予選B組の日本代表は、16日午後8時（日本時間17日午前1時）から敵地マスカットでの第6戦でオマーンと対戦する。

オマーンには9月の初戦で0―1と敗れた。森保監督は15日に記者会見し「同じ相手に負けられない。ホームだろうと、アウェーだろうと、W杯に出るために一試合一試合、出場権を取るためのトーナメントという気持ちで勝利をつかみ取る」と必勝を期した。

日本は勝ち点9の3位、オマーンは同7で4位につける。国際サッカー連盟（FIFA）ランキングは日本が28位でオマーンは77位。対戦成績は日本の9勝3分け1敗。

雪辱し、残り4試合へ

苦戦続きで気の抜けない状況が続く日本だが、10月のオーストラリア戦からは4―3―3の布陣で2連勝と星勘定では持ち直しの兆しもある。最終予選初戦で苦杯を喫したオマーンに雪辱し、来年1月以降の残り4試合へつなげたい。

右サイドバックは主力の酒井（浦和）が間に合いそうだ。負傷の影響でベトナム戦前は別メニューが続いていたが、マスカット入りしてからは調整の強度も上がっている。警告累積で出場停止の守田（サンタクララ）が務めたMFの一角は、原口（ウニオン・ベルリン）が代役候補に挙がる。

オマーンにホームで0―1と敗れた試合は攻守の切り替えで後手に回るなど反省点が残った。今回は守備で隙を見せずに素早く寄せ、相手が得意とする速攻を封じたい。ここまで最終予選5試合で4ゴールと得点力不足の攻撃面ではセットプレーの工夫も必要だろう。

自動車レース スーパー耐久S

Dステ総合2位 ST―Zクラス

自動車レースのスーパー耐久シリーズの最終第6戦が15日までに、岡山県の岡山国際サーキットで行われ、ST―Zクラスのステーション・ヴァンテージGT4（星野辰也、織戸学、篠原拓朗、浜健二）が2位に入り、年間総合2位でシーズンを終えた。

第5戦で年間総合優勝を決めていたST―Xクラスのステーション・ヴァンテージGT3は今回参戦しなかった。

最終第6戦で2位に入り、年間総合2位となったDステーション・ヴァンテージGT4

全国高校サッカー

本県代表は 初戦、草津東（滋賀）

第100回全国高校サッカー選手権（12月28日～来年1月10日）の組み合わせ抽選が15日、オンラインで行われ、本県代表は1回戦で草津東（滋賀）と対戦することが決まった。U―22（22歳以下）日本代表MF松木玖生らを擁して前回準優勝の青森山田は初戦の2回戦で大社（島根）と対戦。東京・国立競技場で開会式の後に行われる開幕戦は関東第一（東京B）と中津東（大分）の顔合わせとなった。

前回優勝の山梨学院は佐賀東と、夏の高校総体準優勝の米子北（鳥取）は前回4強の矢板中央（栃木）と2回戦で当たる。選手宣誓は高川学園（山口）の奥野奨太主将が務める。

本県代表を決める決勝戦は23日に行われ、前橋育英と桐生第一が対戦する。

国立競技場の使用は2013年度の第92回大会以来8大会ぶりで、改築後は初。開幕戦、準決勝2試合と決勝の計4試合が行われる。

全国選抜県予選男子の部優勝の真田丸

全国選抜県予選女子の部優勝のあすなろ

スーパーシニア大会優勝の高榛

ゲートボール 全国選抜県予選

男子 真田丸（合）（混） 女子 あすなろ（南牧）V

ゲートボールの全国選抜県予選とスーパーシニア大会（県ゲートボール協会、上毛新聞社主催）が14日、前橋市設ゲートボール場（幸始園）で開かれ、全国選抜県予選男子の部は真田丸（混合）、女子の部はあすなろ（南牧）が優勝した。

同予選には男子10チーム、女子5チームが参加。リーグ戦形式で優勝を争った。スーパーシニアは1チーム5人の合計年齢が400歳以上のチームが対象で、6チームで優勝を争い、高榛（高崎）が制した。

成績は次の通り。

【全国選抜県予選】
◇男子▽1コート ①ひとつばな（南牧）②真壁美保（渋川）③沼須（沼田）▽2コート ①真田丸（混合）②嬬恋（嬬恋）③北橘（渋川）▽総合優勝 真田丸（木村修平、高橋賢太郎、若月秀夫、斎藤博、金井勝）◇女子▽順位 ①あすなろ（磯貝近子、市川きく子、斉藤武子、小金沢光江、下風千鶴恵）②高崎清風（高崎）③太田金山（太田）

【スーパーシニア大会】
▽順位 ①高榛（大熊本司、鎌勲夫、入沢秀行、加部美夫、上野勝）②北橘（渋川）③ふれあい会（谷田）

浦和・阿部が引退

元日本代表MF

J1浦和の元日本代表MF阿部勇樹（40）が14日、今季限りでの現役引退を表明した。さいたま市内で記者会見し「今年が始まった時点である程度、勝負の年、最後の年になると考えていた。この年齢までサッカーができるとは思っていなかったが、本当に幸せなサッカー人生だった」と涙ながらに語った。

1998年に地元の千葉（当時市原）でJリーグデビュー。歴代4位のJ1通算589試合出場を誇り、浦和で2度のアジア・チャンピオンズリーグ（ACL）優勝を経験。日本代表では53試合3得点で、2010年のワールドカップ（W杯）南アフリカ大会で16強入りに貢献した。

大谷一問一答

「原動力はファン」

―故障から再起できた原動力は。

「一番はファン。喜んでいる姿を見たい。あとはこうなりたいと思った目標を諦めない気持ち」

―オールスター戦前日の本塁打競争に日本選手初出場を果たした。

「パワー勝負をトップのレベルでできるというのはすごくうれしかった。できるというのを実感できただけで、もっともっと高いレベルに自分を持っていくことができるんじゃないかと思う」

―投手で手応えは。

「イニング数、試合数をこなせたのが一番。（右肘の）患部、体のなじみだったりは後半戦に進むにつれて良くなってきていた」

―精神的に落ち込むことはあるのか。

「精神的にきつい場面は後半の方が多かった。試合に出るからこそそういうのがある。落ち込むときも含めて、いい一年だった」

―ベーブ・ルースと比較された。

「光栄なこと。残した数字だけではない方だと思うので、そこが一番すごい。いつまでも覚えてもらえる選手というのはなかなかいない。そこは選手として目指すべきものの一つだと思う」

―来季の目標は。

「どれくらい試合に出られるか、打席に立てるか、登板できるかというのが一番かなと思う。あとはやれることをやって、残った数字が良かった、悪かったというのは自分で振り返ればいい」

―今年は東日本大震災から10年。

「何年たっても気持ちは変わらない。忘れることはない」

―婚期は。

「なるようにしか、ならないものだと思っている。今のところは、まだまだ先じゃないかと思っている」

―お金については。

「消費することはあまりない方なので、今のところはたまっていく一方かなと思う」

―子どもたちへのメッセージを。

「野球をやっている子はうまい選手を目標に頑張ると思う。その目標に値するような、目指されて問題ないような人間として今後も頑張っていきたい」

第100回全国高校サッカー選手権

山梨学院（山梨）
佐賀東（佐賀）
秋田商（秋田）
東福岡（福岡）
中部大第一（愛知）
大津（熊本）
西武台（埼玉）
三重（三重）

群馬県代表
草津東（滋賀）
茨城県代表
高松商（香川）
富山第一（富山）
宮崎日大（宮崎）
流通経大柏（千葉）
近畿大和歌山（和歌山）
静岡学園（静岡）
徳島商（徳島）
尚志（福島）
瀬戸内（広島）
関東第一（東京B）
中津東（大分）
米子北（鳥取）
矢板中央（栃木）
帝京長岡（新潟）
神村学園（鹿児島）
帝京大可児（岐阜）
今治東中教校（愛媛）
桐光学園（神奈川）
西原（沖縄）
羽黒（山形）
岡山学芸館（岡山）
星稜（石川）
高川学園（山口）
仙台育英（宮城）
滝川二（兵庫）
市長野（長野）
東山（京都）
北海道（北海道）
長崎総合科学大付（長崎）
堀越（東京A）
高知（高知）
専上（岩手）
奈良育英（奈良）
丸岡（福井）
阪南大高（大阪）
大社（島根）
青森山田（青森）

12/31熊①
1/2熊②
12/29熊②
12/31熊②
12/29N②
1/4フ①
12/29N①
12/31N①
12/29熊①
1/2熊①
12/31N②
1/8国12:05
12/31フ②
1/2フ①
12/29フ①
12/31フ①
12/29フ②
1/4フ②
12/29柏①
12/31柏①
12/28国※
1/2フ②
12/31柏②
1/10国14:05
12/31等②
1/2等①
12/29等②
12/31等①
12/29等①
1/4等②
12/29二①
12/31二①
12/29二②
1/2等②
12/31二②
1/8国14:20
12/31西①
1/2駒②
12/29駒①
12/31駒②
12/29駒②
1/4等①
12/29西②
12/31西②
12/29西①
1/2駒①
12/31駒①

◆サッカーYogibo WEリーグ第9節最終日（14日・フクダ電子アリーナほか）
▽得点者【千】千葉2（2、0）0ノジマ相模原（14、6）
▽得点者【神】大沢、鴨川INAC神戸1（1、0）0新潟（24、5）
▽得点者【長】長野2（0、2）1広島（11、8）
▽得点者【長】五嶋、滝沢千【広】松原優

国…国立　N…NACK5　等…等々力
西…西が丘　熊…熊谷ス　柏…柏の葉
駒…駒沢　二…ニッパツ　フ…フクアリ
※は開幕戦15:00　開始時間①12:05～②14:10～

第1266回サッカーくじ

◎メガビッグ
▷当せん結果（指定試合順）
2 1 4 4 4 3 4 4 4 4 2 2

	当せん金	口数
1等	909,160,980	1
2等	32,431,620	1
3等	77,190	60
4等	12,930	537
5等	3,030	3,809
6等	780	17,792
1等繰越金		0
売上金額		463,308,900
払戻期限		2022年11月15日まで

（注）　1＝合計得点1以下、2＝合計得点2、3＝合計得点3、4＝合計得点4以上。

◎ビッグ
▷当せん結果（指定試合順）
1 2 0 2 0 1 1 2 1 2 0 0 0 1

	当せん金	口数
1等	0	0
2等	2,174,430	17
3等	41,580	254
4等	7,380	2,139
5等	1,350	11,691
6等	540	47,263
繰越金		2,478,948,720
売上金額		1,056,162,600
払戻期限		2022年11月15日まで

（注）　1＝ホームの90分勝ち、2＝ホームの90分負け、0＝その他。

◎ビッグセン
▷当せん結果（指定試合順）
1 2 0 2 0 1 1 2 1 2 0

	当せん金	口数
1等	15,126,180	3
2等	126,040	90
3等	11,940	949
4等	1,320	5,690
繰越金		0
売上金額		151,261,800
払戻期限		2022年11月15日まで

◎ミニビッグ
▷当せん結果（指定試合順）
1 2 0 2 0 1 1 2 1

	当せん金	口数
1等	1,086,300	26
2等	21,420	527
3等	4,020	4,211
繰越金		0
売上金額		112,976,000
払戻期限		2022年11月15日まで

◎100円ビッグ
▷当せん結果（指定試合順）
1 2 0 2 0 1 1 2 1 2 0 0 0 1

	当せん金	口数
1等	200,000,000	1
2等	1,147,740	14
3等	24,720	260
4等	3,230	1,988
5等	900	10,668
繰越金		235,957,580
売上金額		321,367,600
払戻期限		2022年11月15日まで

◎トト
▷当せん結果（指定試合順）
1 2 0 2 0 1 1 2 1 2 0 0 0

	当せん金	口数
1等	18,131,010	2
2等	73,300	106
3等	5,270	1,472
1等繰越金		0
売上金額		103,605,800
払戻期限		2022年11月15日まで

◎ミニトトA
▷当せん結果（指定試合順）
1 2 0 2 0

	当せん金	口数
1等	17,630	338
繰越金		0
売上金額		11,918,300
払戻期限		2022年11月15日まで

◎ミニトトB
▷当せん結果（指定試合順）
1 1 2 1 2

	当せん金	口数
1等	660	7,922
繰越金		0
売上金額		10,567,700
払戻期限		2022年11月15日まで